



OSMCER
2025

OSMC ER

臨床活動3本柱

- ER

＜院内連携＞

- 病院前救急 (大分DMAT、Dr.Car)

＜消防機関・救急隊との連携＞

- 検案

＜警察との連携＞



ER

Ambulance

OSMC ER 救急車搬入症例数推移

2004年～2025年

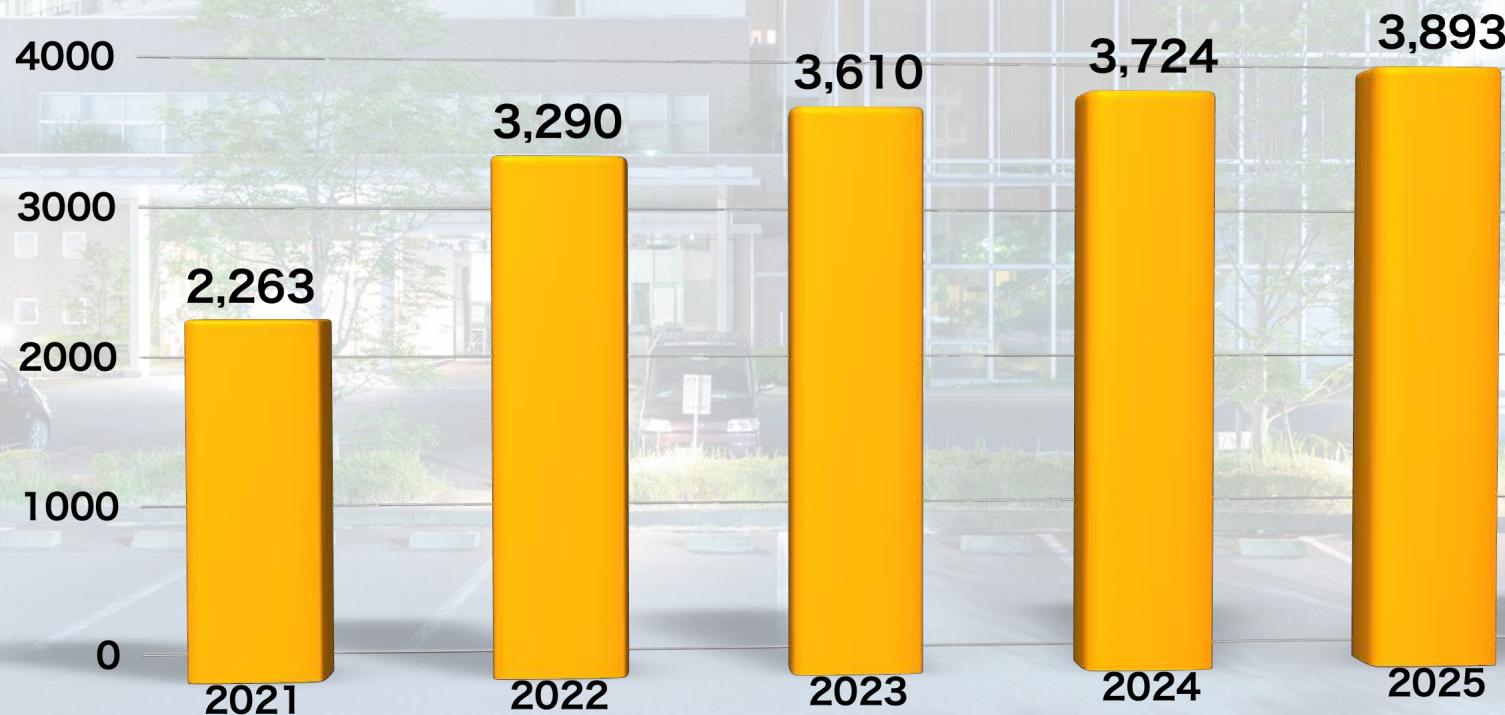


OSMC ER 救急車搬入要請件数

2021年～2025年（直近5年）

- 搬入要請全件数

- 2022年より要請件数が3,000件を超えるようになりました
- 地域における救急医療機関としての期待、信頼の高さが伺え、これまでの取り組みが評価された結果と思われます

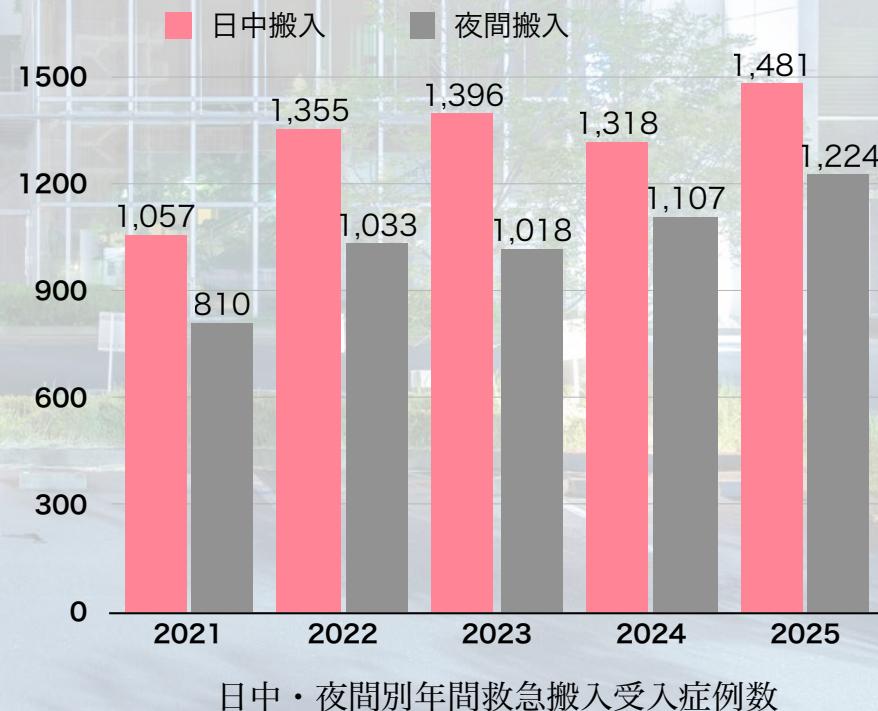
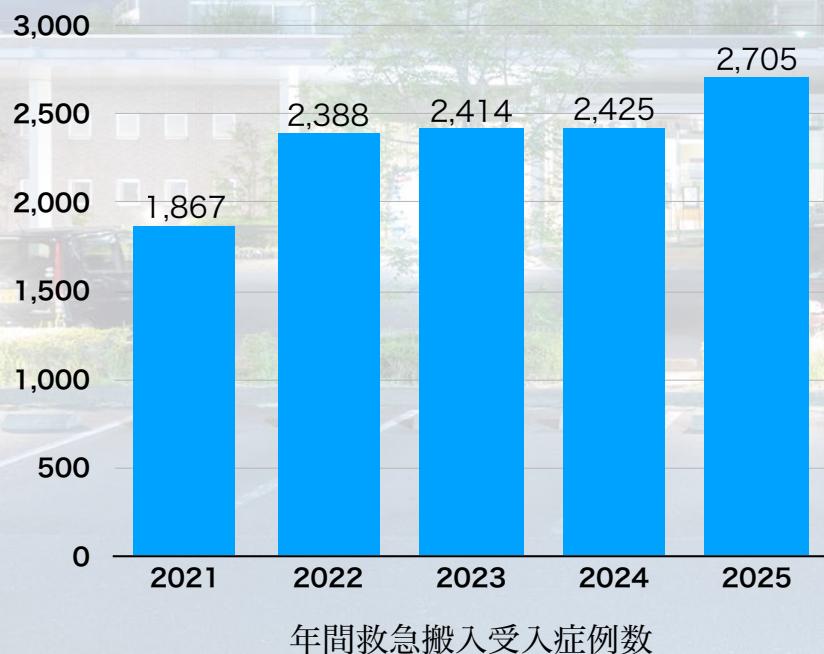


OSMC ER 救急車搬入受入症例数

2021年～2025年（直近5年）

- 搬入受入症例数（全体と日中・夜間）

- 2022年より要請件数増とともに受入症例数が2,000症例を2025年は2,500症例を超えました
- マンパワーが充実する日中の受入件数が多いのはもちろんですが、夜間も受入に努め、多くの救急搬入症例に対応しています

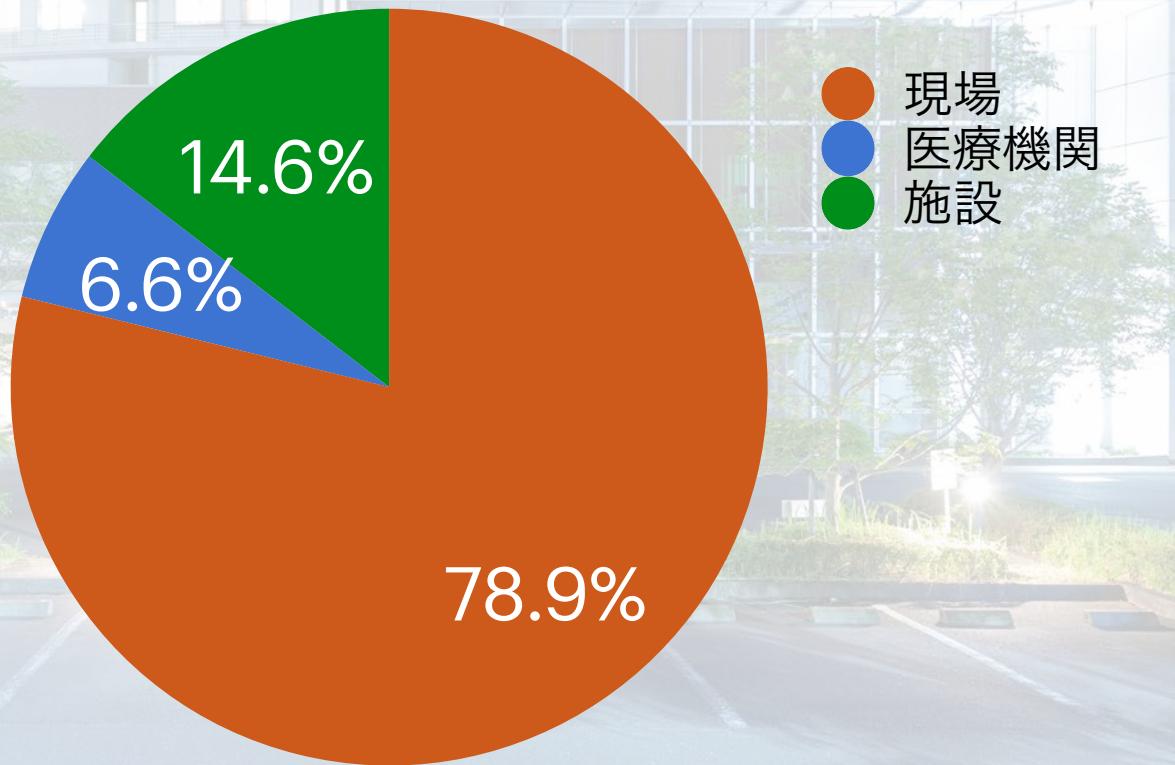


OSMC ER 救急車搬入元症例数

2025年

- 搬入元

- 2025年搬入症例数2,705症例のうち、約80%は現場からの搬入です

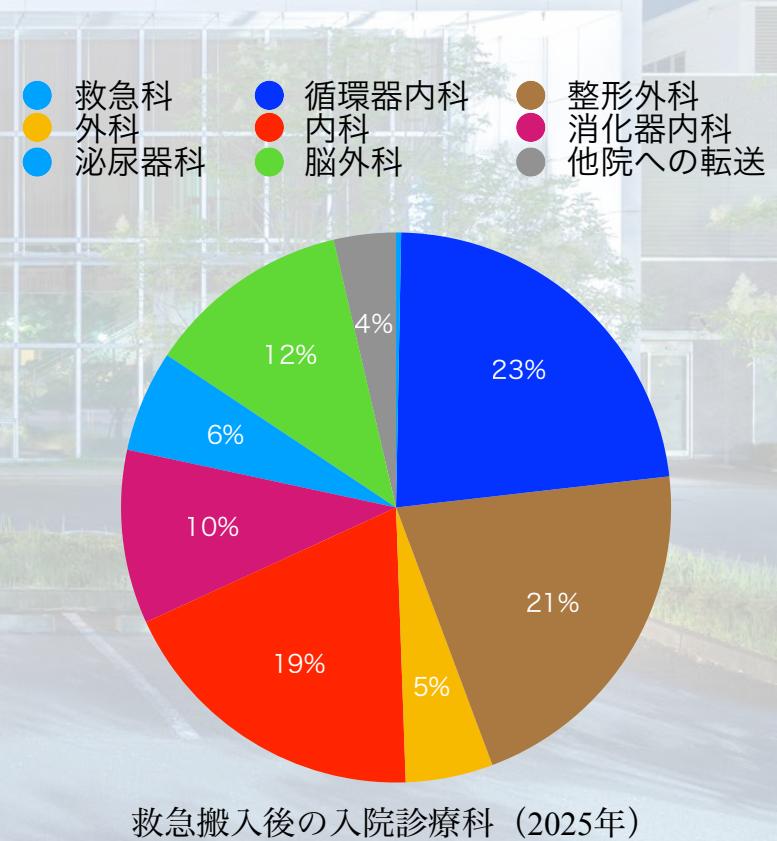
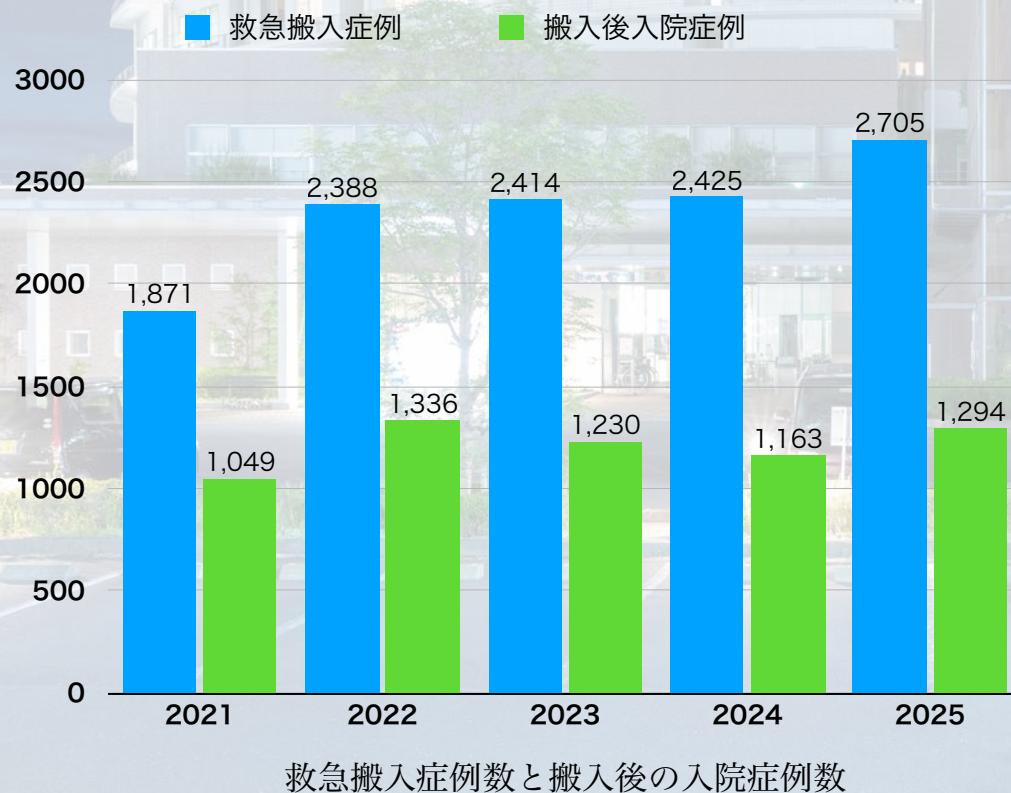


OSMC ER 救急搬入後入院症例数

2021年～2025年（直近5年）

● 救急搬入後入院症例数と入院診療科

- 救急搬入された症例のうち約45%が入院となっています
- 入院診療科は循環器内科、整形外科、内科が多くなっています（2025年）

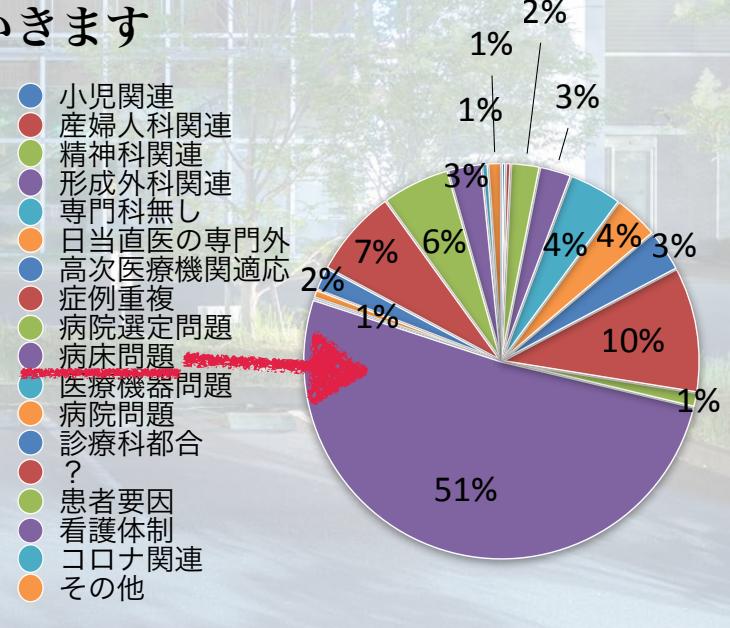
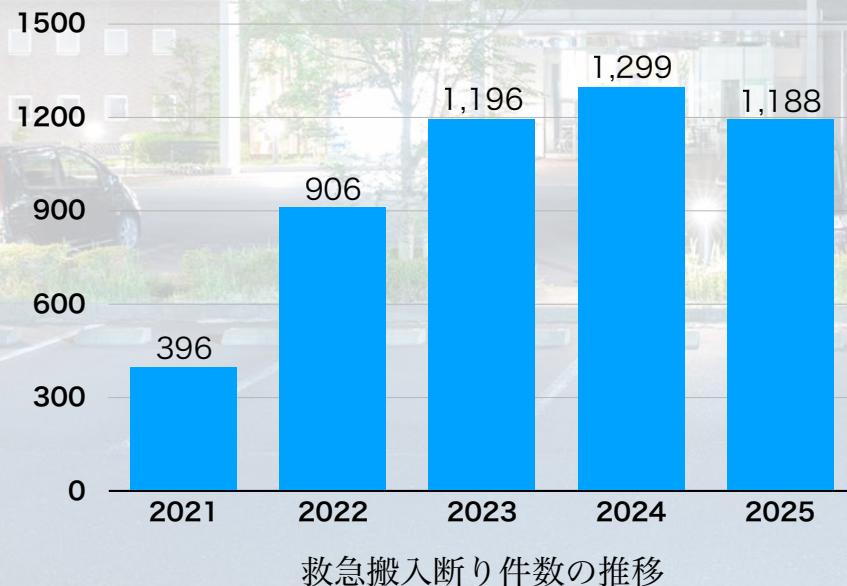


OSMC ER 救急車搬入断り件数

2021年～2025年（直近5年）

● 搬入断り件数

- 2023年より断り件数が1000件を超えてしました
- 最大の要因は病床問題です
- 看護体制問題で190床の内、10床強が使用できないことで満床となることが多くなっています
- 2025年は前年および前々年より断り件数の減少が得られていますが、まだまだ1000件を超える状況で、引き続き件数減少へ取り組んでいきます



OSMC ER 救急車搬入応需率

2021年～2025年（直近5年）

● 搬入応需率

- 受入要請件数が増す中、病床問題等で応需率が低下傾向にありましたでしたが、2025年より病床管理の強化の取り組みをはじめ、わずかではありますが、応需率が上がっています
- ただし、まだまだ応需率は低く、病床管理のさらなる強化を図ってまいります



病院前救急

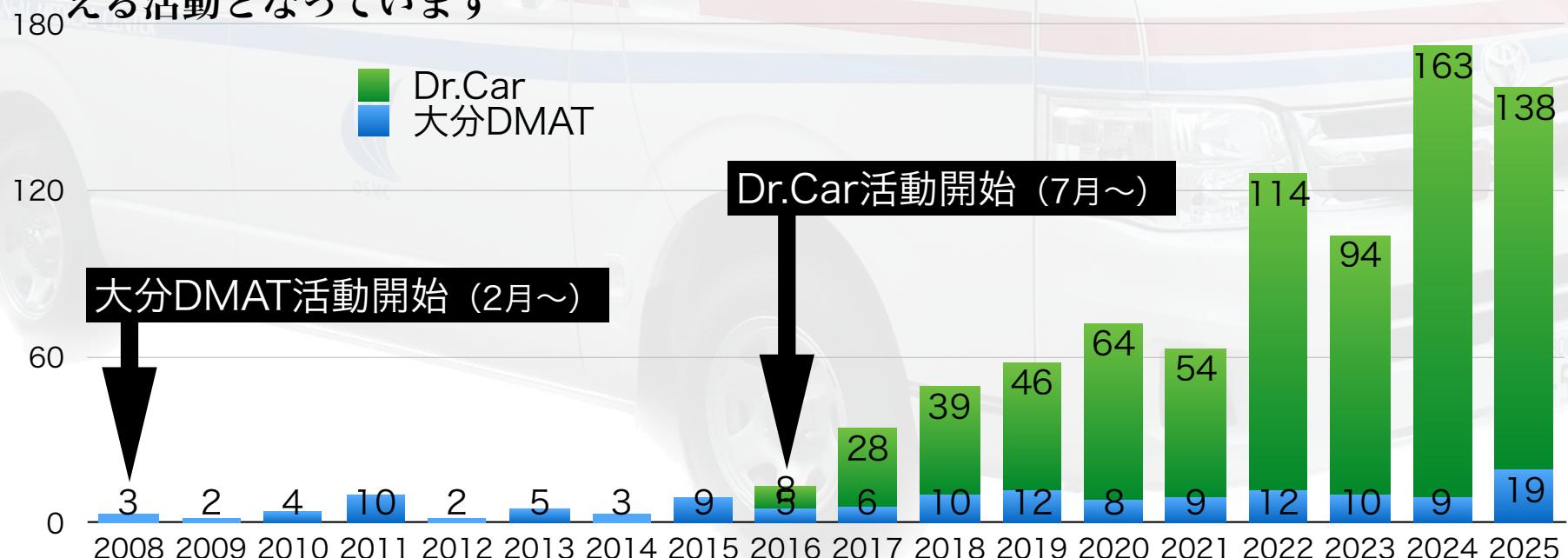
大分DMAT・Dr.Car

OSMCER 病院前救急活動

2008年～2025年

- 活動件数（接觸傷病者数）

- 2008年より大分DMAT指定医療機関となり大分DMAT活動に取り組んでいます
- 2016年7月より大分市消防局とドクターカー協定を締結し、以後Dr.Car活動に取り組んでいます
- 大分DMAT活動は概ね年間10症例前後の推移ですが、Dr.Car活動は年間100症例を超える活動となっています

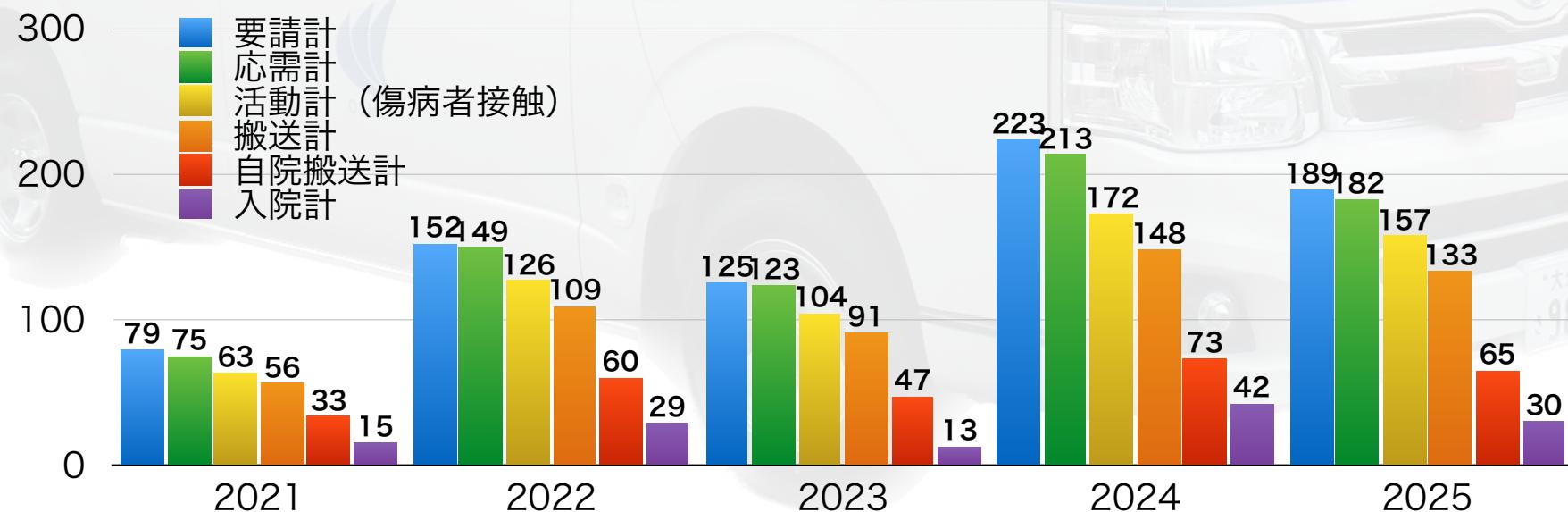


OSMC ER 病院前救急活動

2021年～2025年（直近5年）

- 各種件数

- 多くの要請に応需（応需率96%）していますが、応需の内15%ほどは出動途上でキャンセルとなっています
- 傷病者に接触後、85%ほどは搬送になり、その内50%ほどは自院（OSMC）への搬送となっています
- 傷病者の病態及びかかりつけ情報により適切に搬送先医療機関を選定しています（必ずしも自院へ連れて帰る活動ではありません）
- 自院へ搬送した傷病者の中、45%ほどが入院となっています



検案



検死立会件数

2008年～2025年

- 警察からの依頼により検死に協力しています

- 2023年までは50件前後でありましたが、2024年以降より件数が増えていきます
- 大分南警察署からの依頼が主ですが、2024年からは大分中央警察署からの依頼も増えています
- 2025年は検死立会の内、85%にPMCT検査が実施されています

